

学会発表 (1998 ~)

1. 堀田武彦, 筒広樹, 大内克哉:
日本物理学会 第 70 回年次大会 2015 年 (早稲田大学 早稲田キャンパス)
ガウス過程を用いた位相応答曲線の推定
第 70 巻第 1 号 (第 70 回年次大会) 第 2 分冊, p.3026 (講演番号: 22pBL-4), 2015.3.21-24
2. 筒広樹, 大内克哉, 堀田武彦:
日本物理学会 第 70 回年次大会 2015 年 (早稲田大学 早稲田キャンパス)
ランダム DC 場に駆動される 2 次元二枚歯ラチェットモーターの回転効率の評価
第 70 巻第 1 号 (第 70 回年次大会) 第 2 分冊, p.2875 (講演番号: 21aPS-31), 2015.3.21-24
3. 福島弘章, 筒広樹:
日本物理学会 2014 年秋季大会 (中部大学春日井キャンパス)
動的ネットワーク上の囚人のジレンマゲームにおける富の蓄積による協力促進効果
第 69 巻第 2 号 (2014 年秋季大会) 第 2 分冊, p.??? (8aAR-3), 2014.9.7-8
4. 筒広樹, 大内克哉, 堀田武彦:
日本物理学会 第 69 回年次大会 2014 年 (東海大学 湘南キャンパス)
ランダムに偏光が変わる場に誘起される二枚歯ラチェット回転子の一方向回転
第 69 巻第 1 号 (第 69 回年次大会) 第 2 分冊, p.375, 2014.3.27-30
5. 筒広樹, 大内克哉, 堀田武彦:
研究集会「力学系・振動子系・非一様性」(I-site なんば C2,C3 室)
ランダム DC 場に誘起される 2 次元二枚歯ラチェット回転子の一方向回転
2014.March.17-18
6. 筒広樹, 堀田武彦, 大内克哉:
日本物理学会 2013 年秋季大会 (徳島大学常三島キャンパス)
三枚歯ブラウン回転ラチェット模型のエネルギー論
第 68 巻第 2 号 (2013 年秋季大会) 第 2 分冊, p.289, 2013.9.25-28
7. 筒広樹, 堀田武彦, 大内克哉:
日本物理学会 第 68 回年次大会 2013 年 (広島大学東広島キャンパス)
三枚歯ブラウン回転ラチェット模型の最大トルク/最高出力について
第 68 巻第 1 号 (第 68 回年次大会) 第 2 分冊, p.407, 2013.3.26-29
8. 大内克哉, 筒広樹, 堀田武彦:
日本物理学会 第 68 回年次大会 2013 年 (広島大学東広島キャンパス)
講演番号 27pPSB14, 2013.3.26-29
9. 筒広樹, 長田宗一郎:
日本物理学会 2012 年秋季大会 (横浜国立大学常盤台キャンパス)
三枚歯回転ラチェット模型の確率動力学の解析
第 67 巻第 2 号 (2012 年秋季大会) 第 2 分冊, p.238, 2012.9.18-21
10. 筒広樹:
日本物理学会 第 67 回年次大会 (関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス)
2 枚歯回転ラチェット模型

- 第 67 巻第 1 号 (第 67 回年次大会) 第 2 分冊, p.343, 2012.3.24-27
11. Hiroki TUTU:
International Symposium on Complex Systems 2011(Koshiba Hall, The University of Tokyo, Tokyo, Japan)
Two-tooth rotary ratchet and its unidirectional rotation under linearly polarized ac-field
2011.12.1-2
 12. 筒広樹:
日本物理学会 2011 年秋季大会 (富山大学五福キャンパス)
時間遅れを持つ系の確率共鳴: 応答関数に関する有限極展開の方法 II
第 66 巻第 2 号 (2011 年秋季大会) 第 2 分冊, p.220, 2011.9.21-24
 13. 筒広樹:
日本物理学会 第 66 回年次大会 (新潟大学五十嵐キャンパス)
時間遅れを持つ系の確率共鳴: 応答関数の有限極展開の方法
第 66 巻第 1 号 (第 66 回年次大会) 第 2 分冊, p.337, 2011.3.25-28
 14. 筒広樹:
基研研究会 2010 非平衡系の物理-非平衡ゆらぎと集団挙動
京都大学 基礎物理学研究所 湯川記念館 Panasonic 国際交流ホール
2010 年 11 月 18 日 (木)-20 日 (土)
平均場遅延フィードバック系における確率共鳴応答の二状態モデル解析
 15. Hiroki Tutu:
Japan-Slovenia Seminar on Nonlinear Science (Kansai 2010)
Date: Nov. 8-9, 2010
Venue: Conference Hall, Osaka Prefecture University (Nakamozu Campus)
<http://www.osakafu-u.ac.jp/english/access/index.html>
"Frequency Adaptation in a Controlled Stochastic Resonance utilizing delayed feedback method."
 16. 筒広樹:
日本物理学会 2010 年秋季大会 (大阪府立大学中百舌鳥キャンパス)
大域結合 LLG モデルにおける非マルコフ的確率共鳴: 反応座標の内部自由度の効果について
第 65 巻第 2 号 (2010 年秋季大会) 第 2 分冊, p.235, 2010.9.23-26
 17. 筒広樹:
物性研短期研究会「外部場の時間操作と実時間物理現象」(東京大学 物性研究所 6F)
遅延フィードバックによる確率共鳴の制御理論: 応答関数による特徴付け
6 月 22-23 日
 18. 筒広樹:
日本物理学会 第 65 回年次大会 (岡山大学津島キャンパス)
遅延フィードバックによる確率共鳴の制御: 大域結合 LLG モデルの解析 II
第 65 巻第 1 号 (第 65 回年次大会) 第 2 分冊, p.270, 2010.3.20-23
 19. 筒広樹、堀田武彦:
日本物理学会 2009 年秋季大会 (熊本大学黒髪キャンパス)

- 遅延フィードバック場をもつ結合 LLG モデルにおける動的感受率 (理論編)
第 64 巻第 2 号 (2009 年秋季大会) 第 2 分冊, p.149, 2009.9.25-28
20. 筒広樹、堀田武彦:
日本物理学会 第 64 回年次大会 (立教学院池袋キャンパス)
遅延外場をもつ大域結合 LLG モデルにおける確率共鳴
第 64 巻第 1 号 (第 64 回年次大会) 第 2 分冊, p.315, 2009.3.27-28
21. Hiroki Tutu:
Japan-Slovenia Seminar on Nonlinear Science in Nara
日本スロベニア非線形科学セミナー (奈良)
2008 年 11 月 17 日 (月) - 11 月 18 日 (火)
奈良女子大学・生活環境学部 A 棟 1 階・生活環境学部会議室
Energy Efficiency for Maintaining a UPO in Stochastic Landau-Lifshitz-Gilbert equation with delayed feedback field
22. Hiroki Tutu:
Recent Advances in Nonlinear Dynamics and Complex System Physics: From Natural to Social Sciences and Security,
NATO Advanced Research Workshop,
Grand Mir Hotel, Tashkent, Uzbekistan (06-11, October, 2008)
Stochastic Landau-Lifshitz-Gilbert equation with delayed feedback field: Efficiency for maintaining a UPO.
23. 筒広樹、堀田武彦:
日本物理学会 2008 年秋季大会 (岩手大学上田キャンパス)
遅延フィードバック制御された確率的平均場結合 LLG モデルの動的挙動の解析
第 63 巻第 2 号 (2008 年秋季大会) 第 2 分冊, p.225, 2008.9.20-23
24. Hiroki Tutu and Takehiko Horita:
5th Dynamics Days Asia Pacific (DDAP5)
Nara Prefectural New Public Hall, Japan (9 - 12, September, 2008)
Stochastic Landau-Lifshitz-Gilbert Equation with Delayed Feedback Field.
25. 筒広樹、堀田武彦:
日本物理学会 第 63 回年次大会 (近畿大学本部キャンパス)
単磁区磁性体における遅延フィードバックに誘起される確率共鳴
第 63 巻第 1 号 (2008 年年次大会) 第 2 分冊, p.262, 2008.3.22-26
26. H. Tutu, T. Horita, T. Nakano:
9th Japan-Slovenia Seminar on Nonlinear Science (JPSI9)
Osaka City University (12 - 14, November, 2007)
Delayed feedback control for an oscillatory state in a single domain magnetic system: influence of thermal fluctuation.
27. S. Kanai and H. Tutu
9th Japan-Slovenia Seminar on Nonlinear Science (JPSI9)
Osaka City University (12 - 14, November, 2007)

- A model of chemotaxis with time delayed feedback
28. 筒広樹、堀田武彦:
日本物理学会 第 62 回年次大会 (北海道大学札幌キャンパス)
単磁区磁性体における振動状態の時間遅れ制御: 熱揺らぎの効果
第 62 巻第 2 号 (第 62 回年次大会) 第 2 分冊, p.324, 2007.9.21-24
 29. 金井諭子、筒広樹:
日本物理学会 第 62 回年次大会 (北海道大学札幌キャンパス)
時間遅れを含む走化性応答数理モデル
第 62 巻第 2 号 (第 62 回年次大会) 第 2 分冊, p.258, 2007.9
 30. 筒広樹:
日本物理学会 2007 年春季大会 (鹿児島大学)
時間遅れフィードバックによるナノ粒子磁性系の動的状態の制御
第 62 巻第 1 号 (2007 年春季大会) 第 2 分冊, p.314, 2007.3.18-21
 31. 筒広樹、三谷 辰雄:
日本物理学会 2006 年秋季大会 (千葉大学)
粗視化時間遅れフィードバックによって誘起される空間周期構造を伴った Hopf 分岐
第 61 巻第 2 号 (2006 年秋季大会) 第 2 分冊, p.231, 2006.9.23-26
 32. H. Tutu:
Hopf bifurcation with spatial periodicity induced by coarse-grained time-delayed feedback control.
International Conference on Quantum Mechanical Chaos (QMC 2006)
Osaka City University, September 19-21, 2006
 33. 筒広樹、津田直行、山本涼: 日本物理学会第 61 回年次大会 (愛媛大学)
振動外場に駆動された双安定系における対称な不安定周期状態の制御: 潜伏期が安定性に及ぼす影響
第 61 巻第 1 号 (第 61 回年次大会、2006 年) 第 2 分冊, p.317, 2006.3.27-30
 34. 三谷 辰雄、筒 広樹:
第 55 回理論応用力学講演会 (京都大学京大会館、2006 年 1 月 24-26)
振動外場に駆動された双安定系における遅延制御による動的相転移の制御とその不安定領域における動力学的諸相
 35. 三谷辰雄、筒広樹: 日本物理学会 2005 年秋季大会 (同大京田辺)
振動外場に駆動された双安定系における動的相転移の制御とその動力学: 二次元系
日本物理学会講演概要集 第 60 巻第 2 号 (2005 年秋季大会) 第 2 分冊, p.171, 2005.9
 36. H. Tutu and T. Mitani:
Controlling symmetry breaking in periodically driven bistable system: one-dimensional system
Dynamics Days 2005
ベルリン工科大 ベルリン ドイツ
 37. 筒広樹、三谷辰雄: 日本物理学会第 60 回年次大会
振動外場に駆動された双安定系における動的相転移の制御とその動力学: 一次元系
日本物理学会講演概要集 第 60 巻第 1 号 (第 60 回年次大会、2005 年) 第 2 分冊, p.331, 2005.3
 38. 筒 広樹、三谷 辰雄: Oscillation, Chaos and Network Dynamics in Nonlinear Science (京都大学、2004 年 11 月 25-28)

- Controlling symmetry breaking in periodically driven bistable system: preliminary consideration
39. 筒 広樹：日本物理学会 2004年秋季大会（青森大学，2004年9月）
動的対称性の破れとその制御法について
日本物理学会講演概要集 第59巻第2号（2004年秋季大会）第2分冊，p.248, 2004.9
 40. 筒 広樹、藤原 直哉：日本物理学会第59回年次大会（九州大学箱崎キャンパス，2004年3月）
動的相転移の相図を得るための摂動計算法
日本物理学会講演概要集 第59巻第1号 第2分冊，327, 2004.3
 41. 筒 広樹：第6回細胞性粘菌研究会
（東京大学山上会館，2004年3月）走化性および弱い「負の拡散」項をもつ数理モデルを用いた粘菌の凝集過程の動力学的考察
 42. 筒 広樹：日本 スロベニア セミナー（京都教育文化センター，2003年11月）
Spiral induced self-organization：statistical properties of aggregation stream in Dictyostelium
 43. 藤原 直哉、筒 広樹、藤坂 博一：日本物理学会 2003年秋季大会（岡山大学，2003年9月）
動的相転移におけるキルクダイナミクス
日本物理学会講演概要集 第58巻第2号 第2分冊，210, 2003.9
 44. 筒 広樹：日本物理学会 2003年秋季大会（岡山大学，2003年9月）
粘菌の凝集過程における枝分れ構造の統計力学的解析
日本物理学会講演概要集 第58巻第2号 第2分冊，209, 2003.9
 45. 筒 広樹：第5回細胞性粘菌研究会
（東京大学山上会館，2003年3月）細胞性粘菌の集合流パターンの統計力学的特徴付け
 46. 筒 広樹：第5回細胞性粘菌研究会
（東京大学山上会館，2003年3月）細胞性粘菌の集合流パターンの統計力学的特徴付け
 47. 筒 広樹：日本物理学会 2002年秋季大会
（中部大学，2002年9月）
粘菌の凝集過程：枝分れ構造のスケーリング則とパルス伝搬速度の非一様性、
日本物理学会講演概要集 第57巻第2号 第2分冊，277, 2002.9
 48. 筒 広樹：日本物理学会第57回年次大会
（立命館大学びわこ・くさつキャンパス，2002年3月）
粘菌の凝集過程：集合流パターンの特徴
日本物理学会講演概要集 第57巻第1号 第2分冊，239, 2002.3
 49. 安井 友章、筒 広樹、藤坂 博一：日本物理学会 2001年秋季大会（徳島文理大学徳島キャンパス，2001年9月）
強振動磁場下の異方的イジングスピン系の遷滅動力学
日本物理学会講演概要集 第56巻第2号 第2分冊，179, 2001.9
 50. 筒 広樹：基研研究会「非平衡系の新局面 – 運動・機能・構造 –」
（基礎物理学研究所，2001年6月）
細胞性粘菌の凝集過程：界面モデル
 51. 安井 友章、筒 広樹、藤坂 博一：日本物理学会（中央大学，2001年3月）
強振動磁場下の異方的イジングスピン系の動的相転移
日本物理学会講演概要集 第56巻第1号，227, 2001.3

52. 藤坂 博一、筒 広樹：日本物理学会（中央大学，2001年3月）
2次元イジング系臨界現象の新しい統計法則
53. 筒 広樹：日本物理学会（中央大学，2001年3月）
粘菌の凝集過程：集合流から盛土状形成まで
54. 筒 広樹：生命科学と脳科学への力学的アプローチ（仙台国際センター，2000年11月）
Aggregation dynamics of slime mold amoebae: layer-height model
55. 藤坂 博一、筒 広樹、山本 真理子：日本物理学会（新潟大学，2000年9月）
振動磁場下における XY モデルの動的相転移
日本物理学会講演概要集 第55巻第2号，216, 2000.9
56. 筒 広樹：日本物理学会（新潟大学，2000年9月）
粘菌変形体の界面モデルとその考察
57. 筒 広樹：日本物理学会（岩手大学，1999年9月）
格子モデルによる走性細胞集団のパターン形成
58. 藤坂 博一、筒 広樹、P.Rikvold：日本物理学会 第54回年会
（広島大学，1999年3月）
強交流磁場に誘起されるイジングモデルの相転移
59. H. Tutu and H. Fujisaka：XXth IUPAP INTERNATIONAL CONFERENCE ON STATISTICAL
PHYSICS (PARIS, July, 1998)
Domain size distribution function for the one-dimensional Bloch wall system
60. 筒 広樹：日本物理学会 1998年秋の分科会
（琉球大学，1998年9月）
秩序化過程における一次元異方的 XY スピン系の磁区長の分布
日本物理学会講演概要集 第53巻第2号，第3分冊、796, 1998.9